

【SEL 動画を活用した授業プログラム】

「他者理解」指導案

1. 題 材 「他者理解」

2. 目 標

- (1) 周りの人を理解する方法として共感スキルを理解する。
 - 1) 共感すると、その人の考えや感情を自分のことのように感じる
 - 2) 共感すると、その人とつながり、その人が理解できる
 - 3) 共感すると、人とつながり、元気がでる
- (2) 共感スキルを練習し、使えるようになる

3. 準備・資料等

- ①子ども用 SEL 教材動画
- ②パソコン・プロジェクター
- ③学習プリント(共感する言葉のワークシート, 感想シートを必要に応じて準備する)

4. 授業の展開

主な学習活動・内容	動画停止箇所	指導・支援上の留意点	
導入 1. 学習のめあてを確認する。 周りの人を理解する方法として共感スキルを学び練習する		○本時の目的を板書する(必要に応じて学習プリントを配布する)。	3 分
2. 他の人を理解するためにできることを考える。 ○動画視聴を開始する。 ○話し合いがうまくいっていない状況を理解する。 ○「共感する」を導入する。 ○スライド「他者理解3つのステップで共感力をつけよう」で動画を止める。	2:25	○目的をクラスで確認し共有する。 ○質問や意見があれば発表してもらう。	3 分
展開 3-1 共感スキルについて知る ○動画を再開し、共感するとどうなるのかを学ぶ。 ○上記 1) 2) 3) を理解する。 ○スライド「共感すると～(3つ)」で動画を止める。 ○「他の人の考えや感情を自分のことのように感じる」という共感の意味の理解を確認する。 ○難しい場合には例をあげて理解する。	2:55	○共感を理解したか尋ねる。 ○難しいようなら、例として、友だちや家族の「イライラ」「心配」「楽しい」の気持ちが分かったときについて話してもらい、それが共感であることを理解する。例がでない場合は、教員の例をあげて理解を促す。	5 分

3-2 共感スキルのステップ1を理解する ○動画を再開し、ステップ1「身振り・表情・声の調子から気持ちを考える」を理解する。 ○うまくいっていない場面の回想シーンを見て、「身振り・表情・声の調子」に注目する。 ○動画を止めて、「ゆうとりっかの気持ちを推測してみよう」に取り組み気づいたことを出し合う。 ○動画を再開する。ルンルン「みんな、考えはまとまったかな？」	6:55	○気持ちが言えた児童に、どうしてわかったか発表してもらう。	10分
3-3 共感スキルステップ2を理解する ○動画を再開し、ステップ2「共感する言葉がけ」を理解する ○動画を止めて、「ゆうとりっかに声をかけてみよう」に取り組み、共感する言葉をかける。 ○動画を再開する。ボソボソ「みんなできたかな?」。変化に気づいたかどうか、確認する。	8:37	○グループ内で言い合ったあと、2・3人に、ゆうとりっかに言葉がけをしてみよう。	5分
3-4 共感スキルステップ3を理解する ○動画を見て、ステップ3「共感する言葉がけ レベルアップ」を理解する ○いくがレベルアップした共感する言葉をかける場面を見る。 ○レベルの違いが理解できたかどうか、確認する。			
4 終末(まとめ)「共感スキルの復習」 ○動画を再開して、ステップ1・2・3を復習する。 ○登場人物たちがどうなったかを学ぶ。 ○共感スキルの学習で気づいたことやわかったことを、まとめる		○これからの生活で使えるような共感する言葉を発表し合う。 ○いくの共感スキルがレベルアップした点(こういうことを言ったから)の気づきを発表してもらう。 ○学んだことや感想を発表してもらう。	5分

動画視聴 12分55秒

動画停止しての活動・演習 31分

全体 43分55秒